

東大進学会って、どんな塾？



東大進学会の学習システムをご覧ください！



① 授業は対話型。「楽しく」授業に参加できます。

進学会の授業は、講師が**たくさん当てます**。一方的に話を聞いているだけでは眠くなっちゃいますよね。知識は自分の口で話す（アウトプットする）ことで、一気に理解が深まり定着度が増します。精鋭講師が「楽しく」皆さんを学力アップへと導きます。

② 学校の「教科書に合わせて」授業を進めます。

小学生は**学校の教科書の理解**、中学生は**定期試験対策**がメインです。通常授業では、基本～応用レベルに取り組み、中学生は**定期試験・通知表の点数を上げる**ことが目的です。また、講習会では復習を中心に学習し、入試レベルまで実戦力を高めます。

③ 「自動的に」成績が上がるシステムがあります。

進学会の学習システムは、「予習」→「授業」の基本システムに加えて、「**復習プリント（S-PLAS）**」や、毎回の授業時に行う「**フィードバックテスト**」、定期的に実力を測る「**学力コンクール・合格判定テスト**」など、通うことで**知らず知らずのうちに必要なことが網羅される**ように工夫されています。「思いつき」で「分からないところだけ」やっていると、受験レベルでは「**抜け・漏れ**」がどうしても出てきます。高校入試までのスパンで考えられたシステムがあるのです。

フィードバックシステムで、確実に知識を定着させる！

予習

自分の弱点を把握。

理解できるところとできないところを明確に把握することで、目的を持って授業を受けることができるようになります。

授業

弱点箇所を重点学習。

ただ参加する「受け身の姿勢」ではなく、予習で把握した不明点を中心に「能動的」に授業を受けることで効果UP。

テスト・復習

実戦力強化で
確実な知識へ。

毎回の授業で行うテストで復習&実戦力を身につけます。「わかる」と「できる」は別物です。

知識の定着

出題傾向を徹底分析！ 試験対策授業

東大進学会では、各中学校の定期試験の約2週間前から範囲別の試験対策授業を実施しています。

学校の先取り学習！ 教科書使用授業

授業は、学校の教科書を併用した学校進度対応です。学校の授業が復習となり、学習内容の定着が図れます。

タブレットを無料配布(貸与)！ S-Tablet

学年を越えた先取りや復習が自由自在にできるシステムです。各自の到達度に合わせて、家庭学習をサポートできます。